

地盤工学会関東支部
江戸期以降の土木史跡の地盤工学的分析・評価に関する研究委員会

平成 24 年度第 2 回委員会 議事録

出席者：正垣委員長、金田幹事、末岡委員、菊地委員、中山委員、昌子委員、小野日出男委員、渡邊委員、笠委員、土倉委員、原委員、田頭委員、小野田委員

欠席者：大里幹事、太田委員、内藤委員、坂梨委員、菅野委員、倉岡委員、小野諭委員、西岡委員、田中委員、内田委員、土門委員、川辺委員、藤井委員

委員会の進行は次の順番で行われた。

1. 委員長の挨拶
2. 前回議事録の確認をして、承認された。
3. 配布資料の確認
 - 2-1 地盤工学会関東支部 江戸期以降の土木史跡の地盤工学的分析・評価に関する研究委員会 第 2 回 議事次第
 - 2-2 横須賀地区の軍事遺跡の概要
 - 2-3 第三海堡の建設と地震被害
 - 2-3 ドライドック調査について
 - 2-5 「明治からの軍事以降は語る」講演会名簿
 - 2-6 戦前の築堤方法の再現試験（案）
4. 講演会開催に向けた準備
 - (1) 応募状況について説明があった。
 - ・「はまかぜ」、「タウンユース」に掲載予定であることが報告された。
 - ・横須賀市内への配布についても報告があった。
 - ・参加者が 100 名を超えているので多すぎないか、との意見があったが問題ないとの認識であることが示された。
 - ・8 月 8 日に正垣委員長、昌子委員と横須賀市長による昼食会でシンポジウムの参加を呼び掛けることが報告された。
 - (2) 当日の役割分担について説明があった。当日の見学会・受付で委員の協力をお願いしたいとの連絡があった。
 - ・おっぱまはっけん倶楽部のメンバーに案内をしてもらえることが報告された。
 - ・当日の役割については後程少人数で検討することとした。
 - (3) 講演内容・資料の確認と時間配分について
 - ・各講演者による講演内容の説明があった。
 - ・PPT を配布資料にすることに対する著作権について指摘があった。学会等で確認することとした。
5. 各WGの報告
 - (1) 渡邊港湾WG長よりドライドックの漏水についての報告があった。
 - (2) 笠委員より石積み構造検討についての説明があった。

- (3) 中山地下構造WG長より活動報告があった。
- (4) 小野地上構造物WG長より活動報告があった。
- (5) 田頭委員から戦前の築堤方法の再現試験についての説明があった。委員の皆様にも蛸等で締固めの実験をお願いしたいとの話があった。
- (6) 各WGの報告

6. 報告事項

- (1) 委員会活動の普及計画について提案があった。
- (2) 外部資金「公益信託 大成建設自然・歴史環境基金」へ応募したことの報告があった。

以上